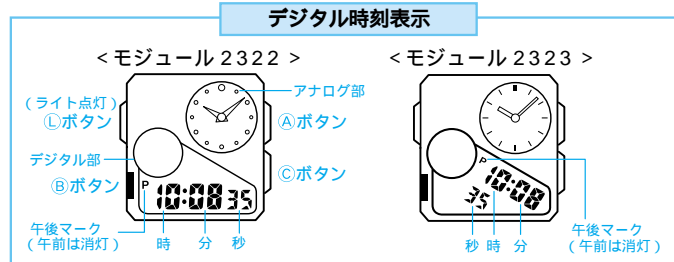


操作のしくみと表示の見方

① ボタンを押すごとに以下の順でデジタル部の表示が切り替わります。

本書の表示例はモジュール2322を使用しています。(モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています)

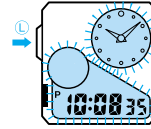


表示照明用 EL バックライトについて

どの表示のときでも、① ボタンを押すと文字板が約 2 秒間発光します。

<ご注意>

直射日光下では、発光が見えにくくなります。発光中に電子音が鳴ると発光を中断します。発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。



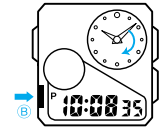
アナログ(針)部の合わせ方

デジタル部がどの表示のときでも、

② ボタンを先のとがった棒で押します

⇒② ボタンを押すごとに 1/3 分(20 秒)ずつ進みますので、合わせたい時刻を表示させます。

押し続けると早送りします。分針はデジタル時刻の秒が 00 秒、20 秒、40 秒になったときに 1/3 分(20 秒)ずつ進みます。

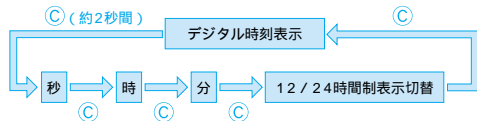


デジタル時刻の合わせ方

電池交換後などで、時刻が合っていないときは、以下の方法でセットします。

準備: ① ボタンを押して「デジタル時刻表示」にします。

「デジタル時刻表示」のとき、③ ボタンを約 2 秒間押し続けると、「秒」が点滅します。以後、③ ボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動します。



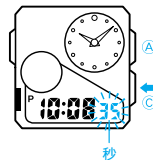
点滅表示のまま 1 ~ 2 分間すると自動的に点滅が止まります。

(1) 「秒の合わせ方」... 30 秒以内の遅れ / 進みの修正

月に一度くらい秒合わせをしていただくと時刻はいつも正確です。

③ ボタンを約 2 秒間押して「秒」を点滅させます

⇒「秒」が点滅しているとき、① ボタンを押すと「00 秒」からスタートします。「秒合わせ」後、③ ボタンを 4 回押すと、点滅が止まります。



秒が 00 ~ 29 のときは切り捨てられ、30 ~ 59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります。(時報は「時報サービス 117 番」が便利です)

(2) 「時のセット

「秒合わせ」後、③ ボタンを押して「時」を点滅させます

⇒「時」が点滅しているとき、① ボタンを押すと数字が 1 つずつ進みますので、合わせたい「時」を表示させます。

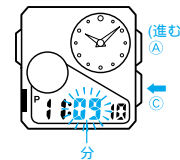
① ボタンを押し続けると早送りします。



(3) 「分のセット

「時」セット後、③ ボタンを押して「分」を点滅させます

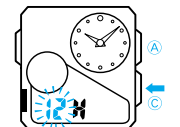
⇒「分」も「時」と同様に① ボタンでセットします。



(4) 12 / 24 時間制の切り替え

「分」セット後、③ ボタンを押します

⇒ 12 / 24 時間制表示の切り替えとなり、① ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



(5) セットが終わりましたら、③ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

ストップウォッチの使い方

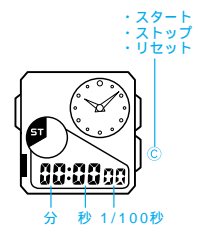
ストップウォッチは 59 分 59 秒 99 (60 分計) まで計測でき、以後自動的に 0 に戻って計測し続けます。

計測のしかた

準備: ① ボタンを押して「ストップウォッチ表示」にします。

③ ボタンを押すごとに計測がスタート / ストップします

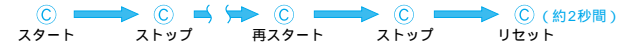
計測終了後、③ ボタンを約 2 秒間押すと計測値が 0 に戻ります。(リセット)



通常計測



積算計測 (ロスタイムのある計測)

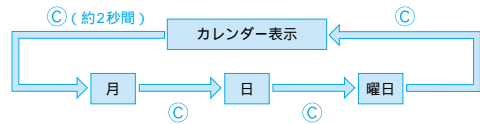


カレンダーの合わせ方

カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、電池交換時およびうるう年の2月29日以外の修正は不要です。

準備：(A) ボタンを押して「カレンダー表示」にします。

「カレンダー表示」のとき、(C) ボタンを約2秒間押し続けると、「月」が点滅します。以後、(C) ボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動します。



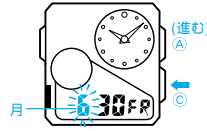
点滅表示のまま1～2分間すると自動的に点滅が止まります。

(1) 「月」のセット

(C) ボタンを約2秒間押しで「月」を点滅させます

→「月」が点滅しているとき、(A) ボタンを押すと数字が1つずつ進みますので、合わせたい「月」を表示させます。

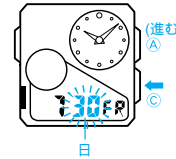
(A) ボタンを押し続けると早送りします。



(2) 「日」のセット

「月」セット後、(C) ボタンを押して「日」を点滅させます

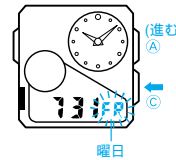
→「日」も「月」と同様に(A) ボタンでセットします。



(3) 「曜日」のセット

「日」セット後、(C) ボタンを押して「曜日」を点滅させます

→「曜日」も「月」と同様に(A) ボタンでセットします。



(4) セットが終わりましたら、(C) ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

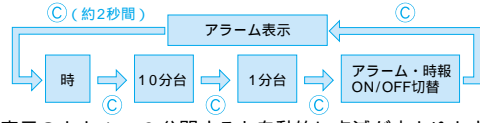
アラーム・時報の使い方

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間電子音で知らせてくれます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。(アラーム・時報はデジタル時刻にしたがって鳴ります)

アラームのセット

準備：(A) ボタンを押して「アラーム表示」にします。

「アラーム表示」のとき、(C) ボタンを約2秒間押し続けると、「時」が点滅します。以後、(C) ボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動します。



点滅表示のまま1～2分間すると自動的に点滅が止まります。

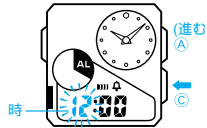
(1) 「時」のセット

(C) ボタンを約2秒間押しで「時」を点滅させます

→「時」が点滅しているとき、(A) ボタンを押すと数字が1つずつ進みますので、合わせたい「時」を表示させます。

(A) ボタンを押し続けると早送りします。

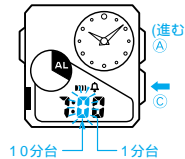
「時」の午前/午後(P)にご注意ください。デジタル時刻を24時間制にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。



(2) 「10分台」のセット

「時」セット後、(C) ボタンを押して「10分台」を点滅させます

→「時」と同様に(A) ボタンでセットします。



(3) 「1分台」のセット

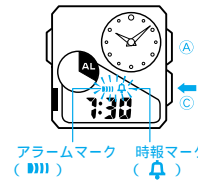
「10分台」セット後、(C) ボタンを押して「1分台」を点滅させます

→「時」と同様に(A) ボタンでセットします。

(4) アラーム・時報を鳴らすには

分セット後、(C) ボタンを押すとアラーム・時報のON/OFF切り替えとなります

→このとき、(A) ボタンを押すごとに、アラーム・時報のON/OFFが切り替わります。各マークとも点灯しているとON、点灯していないとOFFとなります。



(5) セットが終わりましたら、(C) ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

鳴っている電子音を止めるには

鳴っている電子音を止めるには、いずれかのボタンを押します。

デモアラーム (アラーム音を選ぶ)

どのモードのときでも(A) ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

(A) ボタンを押し続けるごとに、電子音が4段階で切り替わりますので、好きな音を選べます。

ストップウォッチの使い方

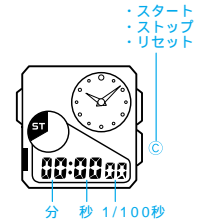
ストップウォッチは59分59秒99(60分計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

準備：(A) ボタンを押して「ストップウォッチ表示」にします。

(C) ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

計測終了後、(C) ボタンを約2秒間押しすると計測値が0に戻ります。(リセット)



通常計測



積算計測 (ロスタイムのある計測)

